

世界遺産
国宝 姫路城
春の特別公開



トの櫓・搦手周辺^{やぐら からめて}特別公開

姫路城の大天守のふもと、備前丸は、かつて姫路城を築城した池田輝政の御殿があったところです。その備前丸の東に位置する場所に搦手があります。城郭の正面口を大手、裏口を搦手といいます。今回は、普段は公開していないトの櫓と搦手周辺(一部)をご覧ください。

令和4年(2022年) 3月1日(火)~21日(月・祝)

時間 / 9:00~16:30 (最終入城16:00 閉城17:00)

公開場所 / トの櫓、搦手周辺

観覧料200円 ※別途姫路城の入城料が必要です

トの櫓 初公開

との一門の2階櫓部に連なる櫓で建物の平面は菱形をしており、姫路城の搦手防御の中心的な役割を果たしていました。

搦手周辺 一部公開

との一門、との二門で構成された枅形虎口が残っており、姫路城内で枅形虎口の外門と内門が現存する唯一の場所です。※長壁神社遺趾とその周辺は天候不順時等に公開中止となる場合がありますので、予めご了承ください。

